

## ◇福井県腎友会のあゆみ

昭和40年ごろまでは、「腎不全」は死を意味していました。それが「人工透析」という治療が海外で開発され、40年代になると日本でもしだいに行われるようになり、死を免れるようになりました。

福井県では昭和45年春に、福井県立病院（稲葉 穂先生）において第1号の人工透析器が設置されました。しかし、治療が受けられても、それは食事、塩分、水分制限などのとても厳しい自己管理が必要で、更に高額な医療費を負担しなければならず「金の切れ目が命の切れ目」と言われる大変な状況でした。

このような問題の解決を図るため、全国の患者たちは各県に患者会を結成し、全国的な患者の連絡会がぜひ必要として、昭和46年6月に「全国腎臓病連絡競技会」（通称、全腎協）が結成されました。命をかけて上京し国会請願など患者運動により、腎不全患者も身体障害者と認められ、昭和47年10月身体障害者福祉法に基づく再生医療（育成医療）制度による医療費の軽減や社会生活上の祉サービスの利用が出来るようになりました。

福井県でも30年前（昭和48年）腎不全患者が「命と暮らしを守る」ことを出発点として、約100名が集まって『ふくい腎友会』が結成され、同時に全腎協に加入し患者運動に加わっております。

昭和57年に福井県からの事業委託（腎セミナー）を受け、名称を『福井県腎友会』と変えて今日に至っております。

昭和48年度	4月	ふくい腎友会結成総会（福井県民会館） 会員100名 初代会長に三村清紀氏（済生会支部）を選出
昭和49年度	4月	小、中学生の検尿が義務化（全腎協）
	5月	第2回総会（福井県民会館）
	7月	初めてのレクリエーション開催（九頭竜溪谷）
昭和50年度	4月	第3回総会（福井市文化会館）
	11月	初の北陸3県交流会開催（金沢市） 北陸ブロック体制へ
昭和51年度	4月	第4回総会（福井市商工会館） 新会長に前田義光氏（藤田支部）を選出（2代目）
昭和52年度	4月	第5回総会
	//	腎臓移植普及会発足（全腎協）
昭和53年度	4月	第6回総会（福井県民会館） 会長に三村清紀氏を再選
	12月	県内初の腎移植センター完成（藤田病院）

	//	腎移植に健康保険の適用（全腎協）
	//	人工透析に夜間透析治療加算と透析時間制導入（全腎協）
昭和 54 年度	4月	第7回総会（福井市民福社会館） 新会長に西浦 忠氏（和田支部）を選出（3代目） 初めての長期透析者表彰 7年 8名 5年 43名 総会の午後に記念講演を行う（以後毎年） 講師 浦川全腎協副会長（福岡県腎友会会長）
昭和 55 年度	4月	第8回総会（福井市民福社会館）
	//	腎移植に関する法律制定（全腎協）
昭和 56 年度	4月	第9回総会（福井市民福社会館） 会員 220名
	//	腎臓移植提供者にも健康保険適用（全腎協）
	//	青い鳥のハガキ支給始まる
	10月	第1回全国一斉献腎登録者拡大街頭キャンペーン始まる
昭和 57 年度	4月	第10回総会
	//	新会長に宮川正雄氏選出（4代目） 名称を「福井県腎友会」とする。 県からの事業委託金により毎年6カ所で腎セミナーと 標準生活指針を発行する。
	3月	腎臓バンク設立基金募金運動開始する。
昭和 58 年度	5月	第11回総会（福井県民会館） 会員 300名 創立10周年記念式典を開催
昭和 59 年度	5月	第12回総会（福井県民会館）
	8月	会員名簿作成
	//	CAPDに健康保険適用
昭和 60 年度	6月	第13回総会（福井県民会館）
昭和 61 年度	4月	第14回総会（福井市フェニックス・プラザ） 新会長に大田保彦氏（藤田支部）を選出（5代目） 腎セミナー「年金制度改正について」を学習する
	3月	CAPD部会発足
	//	第1回腎臓病シンポジウムが開催される（共催 LC）
昭和 62 年度	4月	第15回総会（福井県民会館）
	9月	腎移植推進月間制定（厚生省・全腎協）

## 保険被用者1割負担導入

昭和63年度	5月	第16回総会（福井市フェニックス・プラザ） 創立15周年記念式典（福井市と高浜町での腎セミナーの時）
平成元年度	5月 2月	第17回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員406名 身体障害者の内部障害にもJR、私鉄、航空の運賃割引制度 摘要（全腎協）
平成2年度	4月 11月 12月	第18回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員427名 会員名簿発行 脳死臨調第1回公聴会にて、患者代表として大田会長出席 する（名古屋市） （財）福井腎臓バンク法人が認可される 腎臓バンク設立時に、腎友会より基本財産と運用資金 出資する。（700万円、会員、家族、支援者）
平成3年度	4月	第19回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員458名 （財）福井県腎臓バンクが厚生省より許可される 長崎県雲仙普賢岳被災者救援募金を取り組む
平成4年度	4月 3月	第20回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員474名 会員名簿発行 透析患者通院の実態調査に取り組む CAPD友の会設立総会（会員50名参加）
平成5年度	4月 8月 10月 3月	第21回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員512名 腎友会規約改定する 「福井県腎友会20周年記念と感謝のつどい」開催する 会場 ユアーズホテルフクイ 参加者 163名 第8回腎移植国民大会に於いて、福井県腎友会が厚生大臣 より腎移植推進功労者感謝状を受賞する。（山口県） 腎移植者友の会設立総会（会員12名参加）
平成6年度	4月 11月 //	第22回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員545名 HLA（腎臓移植希望者）友の会設立総会（会員17名参加） 第1回新規透析導入者腎セミナー開催（会員17名参加） 高速道路の有料料金が内部障害者にも、割引料金制度が適 用になる。（全腎協）
平成7年度	4月	第23回総会（福井市フェニックス・プラザ）会員580名 （財）全国腎臓移植普及協会が日本移植ネットワークになる。

		(福井県腎臓バンクは東海、北陸ブロックに入る)
	5月	会員証兼緊急連絡カードを発行・配布する
	10月	透析管理基準表を発行・配布する
平成8年度	4月	第24回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 654名
	10月	腎友会事務所開設
	12月	現役員とOB役員との交流会開催 福井県知事より大田会長功績賞を受ける
平成9年度	6月	第25回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 667名
	9月	6地区腎友会発足(福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭)
	10月	脳死による臓器移植法成立・施行(全腎協)(16日)
	3月	第1回北越ブロック青年交流会(富山県) 3名参加
平成10年度	6月	第26回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 695名
	11月	近畿府県防災訓練が福井県三国町で開催され、6名参加 第2回北越ブロック青年交流会を福井県で開催
平成11年度	6月	第27回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 700名
	8月	第1回全腎協青年交流会(秋田県) 2名参加
	9月	県防災訓練が大野市開催され、7名参加
	10月	第1回腎臓移植推進福井県民大会開催
	//	第1回臓器移植推進国民大会において、大田会長が臓器移植推進等の功績により厚生労働大臣の感謝状を受賞。
	11月	全腎協第15回「腎不全対策を語るつどい」を福井県で開催
平成12年度	5月	全腎協30周年記念式典および、全国大会 福井県腎友会より透析30年2名(風雪年輪賞)受賞 (笠原俊雄氏(藤田支部) 三村清紀氏(細川支部) (全国150名)
	6月	第28回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 715名
	12月	全腎協第1回通院介護支援授業交流会(東京) 1名参加
平成13年度	6月	第29回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 700名 透析30年表彰(風雪年輪賞)に2名受賞
	//	会報「そらまめ」100号の記念号発行
平成14年度	4月	透析診療報酬改悪される ・外来透析の時間区分廃止(多くの仲間4時間以下に) ・外来透析の食事(透析治療食)加算廃止 ・外来透析検査料・ダイアライザーの引き下げ
	6月	第30回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員 695名

会員透析者実態アンケート調査結果報告  
(福井医科大看護学科)

- 10月 透析30年表彰(風雪年輪賞)に1名受賞  
第40回臓器移植推進国民大会に於いて、  
南 隆雄(小浜支部)、中野嘉昭氏(広瀬支部)の両名が  
臓器移植推進の功労者として、厚生大臣より感謝状を授与さ  
れました。
- 平成15年度 5月 (社)全腎協ブロック担当理事に大田会長及び全腎協の  
県代表に、また県事務局長に松井氏就任する。  
6月 第31回総会(福井市フェニックス・プラザ) 会員703名  
透析30年表彰(風雪年輪賞)に2名受賞  
8月 創立30周年記念式典と感謝のつどい開催  
会場 ユアーズホテルフクイ
- 平成16年度 6月 第32回定期総会(福井市フェニックス・プラザ)  
参加120名 会員735名  
総会、長期透析者表彰、式典、感謝状、功労賞贈呈  
講演「ふれあい心理学」  
坂元 美奈子 先生  
(ヘーゲル国際大学大学院心理学科教授)
- 平成17年度 6月 第33回定期総会(福井市フェニックス・プラザ)  
参加156名 会員725名  
総会、長期透析者表彰、式典、感謝状、功労賞贈呈  
講演「ふれあい心理学～人生を楽しみましょう～」  
坂元 美奈子 先生  
(ヘーゲル国際大学心理学科研究所教授・  
道文心理研究所所長)
- 平成18年度 7月 第34回定期総会(福井市フェニックス・プラザ)  
参加150名 会員743名  
総会、長期透析者表彰、式典、感謝状、功労賞贈呈  
講演「いのちと音楽」  
浅川 由美先生(音楽療法学会会員)  
講演「シャントについて」  
細川 高志先生(細川泌尿器科医院院長)  
(財)県腎バンクより 腎友会へ 感謝状贈呈
- 平成19年度 7月 第35回定期総会(県職員会館) 参加174名 会員735名  
講演「慢性腎臓病のよりよい治療をめざして」  
秋澤 忠男先生(昭和大学医学部教授)

- 平成 20 年度 7月 第 36 回定期総会・創立 35 周年感謝のつどい  
(県職員会館) 参加 150 名 会員 751 名  
総会、長期透析者表彰、式典、感謝状、功労賞贈呈  
感謝状 (135 名)、特別功労賞 (8 名) 贈呈式  
公演「たいせつなあなたに贈るミニ・コンサート」  
(しあわせ金の鈴のプレゼント)  
浅川 由美先生 (日本音楽療法学会会員)  
講演「末期腎不全医療の今日と明日」(県民公開講座)  
山崎 親雄先生 (日本透析医会会長)
- 平成 21 年度 7月 第 37 回定期総会 (県職員会館) 会員 735 名  
※新型インフルエンザ感染予防のため中止となる
- 平成 22 年度 7月 第 38 回定期総会 (県職員会館) 参加 150 名 会員 768 名  
講演「透析で長期に生きるために  
～個人的な経験を含めて～」  
春木 繁一先生  
(島根県松江市 青葉クリニック院長 精神科医/透析 38 年)  
式典、長期透析者表彰、感謝状・特別功労賞贈呈 総会
- 平成 23 年度 6月 第 39 回定期総会 (ユニオンプラザ福井)  
新会長に山田 富士雄氏 (鈴木支部) を選出 (6 代目)  
参加 150 名 会員 733 名  
講演「腎臓と骨は兄弟です」  
重松 隆 先生  
(和歌山県立医科大学 腎臓内科  
血液浄化センター 教授)  
式典、長期透析者表彰、感謝状・特別功労賞贈呈 総会
- 平成 24 年度 6月 第 39 回定期総会 (ユニオンプラザ福井)  
参加 150 名 会員 734 名  
講演「CKD の新重症度分類と最新の治療戦略」  
岩野 正之 先生  
(福井大学医学部 腎臓病態内科学 教授)  
式典、長期透析者表彰、感謝状・特別功労賞贈呈 総会